

認定

平成23年度決算は、9月10日に決算特別委員会(議長と監査委員を除く12人)を開会し、10会計を審査しました。

9月14日の本会議で、採決の結果、全会一致で認定しました。



平成23年度各会計決算額表

会計項目		歳入(町の収入)	歳出(町の支出)	
一般会計		83億 202万円	77億4910万円	
特別会計	十王財産区	77万円	19万円	
	下水道	5億4098万円	5億2699万円	
	国民健康保険	16億1610万円	15億2963万円	
	農業集落排水	1億4271万円	1億3677万円	
	介護保険	14億2230万円	14億 998万円	
	後期高齢者医療	1億2982万円	1億2877万円	
企業会計	水道	収益的収支	3億 787万円	2億7646万円
		資本的収支	1369万円	1億6063万円
	病院	収益的収支	11億 352万円	10億9439万円
		資本的収支	1000万円	1億5736万円
	訪問看護ステーション	収益的収支	3094万円	3133万円
		資本的収支	0	364万円
合計		136億2072万円	132億 524万円	

※万円未満は端数を整理しています。

討論

賛成討論 山田 仁議員

平成23年度の一般会計は歳入83億202万円に対し、歳出77億4910万円、差引5億712万円となり、黒字決算となりました。黒字決算は結構なことですが、町税などの自主財源が依然として脆弱であること、特に地方交付税が人口減少などの影響により2.9%減少したことは、今後の施策の重要なポイントと考えられます。一方、公債費負担比率は0.5ポイント改善し、18.7%と着実に減少したことは評価します。

歳出では「第五次総合計画」の実質のスタート年として位置づけた当局的、さまざまな取り組みの効果が取れず、旧中山小学校を利用した介護施設「マイスカイ中

山」の実現、統合保育園も建設中で、民設民営の方針を着実にすすめております。また、荒砥橋の架け替え、荒砥高校の存続に目途がついたことも、町民あげての取り組みが実を結んだものであり評価します。

昨年度は豪雪に見舞われ、除雪費用も補正予算を組むなど大きな支出となりました。内容を点検しながら、よりよい行政サービスになるよう要望します。

総じて、平成23年度は、各施策において、遅滞無く実施されたものと判断し、決算承認するに賛成とします。